

平成 23 年 1 月度第 1 回街づくり委員会（通算第 93 回）議事録

日時：‘11-01-06（木）19：30～20：45

場所：平野市民センター会議室

出席者：雨宮、橋本、中井、竹吉、杉本、杉中、倉橋、戸所、乾 以上 9 名

議事内容：

1. 雨宮会長挨拶

去年は、平野学区にバスを走らせる活動に取り組んだが種々の困難な課題もあり、今後膳所駅周辺の整備事業の進展に合わせて再度取り組んで行くこととし、当面の活動に一呼吸置いた。これに替わり、地域活性化活動の一環として「ZeZe ときめき坂 Halloween2010」を企画し、成功裏に導いた。今年も平野学区の発展のため、他組織とも連携し、地域住民の協力も得て楽しく活動をして行きたいとの挨拶があった。

2. 駅前花壇について

橋本委員より以下の説明があった。

12 月 17 日、市民センターに大津市拾井建設部長他 2 名が来訪され、当方側橋本、中井、竹吉、戸所各委員が面談した。この席で、拾井部長より駅前花壇の整備にまつわる行政側の不手際な対応について謝罪がなされた。その上で、大津市が実施している「手のひら花苑事業」（\* 1）や「花と緑のまちづくり推進事業」（\* 2）の紹介があり、これらを活用して駅前花壇の整備に商店街や街づくりの会で取り組んで欲しいとの要望がなされた。

12 月 22 日、木下道路課長と橋本委員が再度面談し、取組みに実現性のある「花と緑のまちづくり推進事業」についての詳細な説明を受けた。

\* 1) 「手のひら花苑事業」について

趣旨：街角の点景として小さな花壇を作り「花の古都・大津」となるような景観の創出を目指す。

実施内容：登録後 6 カ月以上継続して花を育てた団体に花の苗を予算の範囲内で支給する。

支給基準：1 団体あたり予算の範囲内で年間に 160 株。

応募基準：①花壇の面積は 4 m<sup>2</sup>以上、

②公道など一般の人が自由に鑑賞出来る場所にある

③土地所有者の了解を得ていること

④年間を通して花で飾られていること

対象団体：自治会、老人会、婦人会、子ども会、事業所等

\* 2) 「花と緑のまちづくり推進事業」について

趣旨：地域のコミュニティづくりの一環として人と人とのふれあい等を深めるため市民の手による花壇づくり活動を推進

活動場所：公共の土地で広く公衆の目に触れる 10 m<sup>2</sup>以上の花壇。

活動内容：1年を通じた花の育苗、管理、花壇設計。花は四季の草花。植栽、樹木は含まず。

助成対象：5人以上のグループで、花と緑の街づくり活動をしているグループ、自治会や各種団体に属するグループ。

助成金額：花壇の面積に応じて年額 15,000～41,000 円。

以上の説明を受けて、委員会で審議した結果以下の結論を得た。

- ① 「花と緑の街づくり推進事業」に参画し、商店街、わが街つくる会、自治連が協力して駅前花壇の整備運営を進めて行くこととする。
- ② これを推進するため、プロジェクトチームを発足させる。  
リーダーに竹吉委員が就任し、メンバーは雨宮、橋本、原田の各氏と自治連から1名を加えた構成とし、今後の対応に当たる。作業等についてはプロジェクトチームの指示に従い関係住民が随時協力する。
- ③ H23年度事業からの参加を目指す。

<参加申し込みから助成金交付までの流れ>

参加申込書の提出（受付4月～6月末）⇒現地調査⇒活動参加認定  
⇒活動実施⇒「活動実施報告書」の提出（11月～2月末）⇒活動助成金交付

3. H23年度の主な街づくり活動計画について

- ① 膳所駅前花壇の整備運営
- ② ZeZe ときめき坂 Halloween2011の実施（第1回実行委員会は2/7）
- ④ 平野神社の春、夏祭りの充実に向けた協力体制の検討
- ⑤ 膳所駅周辺整備事業の開始に当たっての行政との協力体制の構築

4. 次回委員会の開催について

1月20日（木）19：30～。平野市民センター会議室。

以上